

平成17年度
養鶏問題懇談会報告書の具体化に
向けた行動計画(案)

平成17年7月
農林水産省

項目	4月～6月	7月～3月	備考
<p>養鶏問題懇談会報告書の周知・徹底</p>	<p>【報告書の周知・徹底】</p> <p>5月中旬～6月上旬:酪肉近等の説明会 【全国課長会議、ブロック単位等】</p> <p>【懇談会の開催】</p> <p>7月20日(第1回) 行動計画の策定</p>	<p>新たな施策の周知・徹底</p> <p>8月:新しい考え方の予算要求への反映</p> <p>生産者団体における報告書の実現に向けた具体的な検討</p> <p>2月:(第2回) 達成状況の検証</p>	
<p>1. 養鶏経営の動向・経営の安定</p>	<p>需給の安定</p> <p>生産動向調査への協力</p>	<p>9月 鶏卵及び鶏肉需給連絡協議会の開催</p>	
<p>養鶏経営の安定</p>	<p>【より競争力の高い生産構造の確立】</p> <p>WTO農業交渉や国際化の進展に対応したより競争力の高い生産構造の確立</p> <p>【制度資金の融通】</p> <p>農業経営基盤強化資金、農業近代化資金等の制度資金の融通による担い手への経営支援</p>	<p>生産動向調査への協力</p> <p>3月 鶏卵及び鶏肉需給連絡協議会の開催</p> <p>3月 鶏卵生産指針の作成・普及</p> <p>鶏卵生産、鶏肉生産の国際競争力の調査、検討</p>	

注:計画欄の は、国、県等の活動、 は、団体の活動を示す

項目	4月～6月	7月～3月	備考
<p data-bbox="125 341 501 416">2 国際化に対応し得る生産・流通体制の構築</p> <p data-bbox="125 440 528 501">改良の推進、飼養・衛生管理の徹底</p>	<p data-bbox="555 325 815 354">【鶏改良の取組の推進】</p> <p data-bbox="577 363 801 405">協議会等の開催</p> <p data-bbox="555 443 1093 523">〔・6月10日 第1回家畜改良増殖推進検討会の開催〕</p> <p data-bbox="577 580 927 651">改良の効率化を図るための手法等の確立・利用の推進</p>	<p data-bbox="1151 399 1585 427">(7月 鶏改良推進全国協議会の開催)</p> <p data-bbox="1128 453 1644 603">〔・7月5日 第1回畜種別検討会(鶏)の開催 ・8月 第2回畜種別検討会(鶏)の開催 第2回家畜改良増殖推進検討会の開催〕</p> <p data-bbox="1164 628 1554 657">(7月、10月 技術検討会の開催)</p>	<p data-bbox="1680 443 2114 539">27年度の改良増殖目標の達成に向けた効率的な改良手法の活用の推進及び改良関係者の連携強化</p>
<p data-bbox="125 772 528 833">生産段階における経営体質の強化</p>	<p data-bbox="577 762 1630 826">動物用医薬品の承認申請に必要な資料の合理化のための国際間での安全性・有効性等試験の方法の統一化及び外国試験データの利用促進</p> <p data-bbox="555 1011 860 1040">【労働費、衛生費の低減】</p> <p data-bbox="560 1107 1070 1145">適切な飼養・衛生管理技術の指導・奨励</p>	<p data-bbox="1173 1107 1576 1145">衛生管理技術の調査・普及</p>	

注：計画欄の は、国、県等の活動、 は、団体の活動を示す

項目	4月～6月	7月～3月	備考
生産段階における経営体質の強化	<p>【畜舎建築基準の緩和措置の活用】</p> <p>生産者向けパンフレットの作成・配布</p> <p>生産者を含む関係者への周知徹底</p> <p>6月～ 食品残さの有効利用に関する実態把握</p> <p>6月～ 港湾諸掛かりの実態把握</p> <p>4月～ 丸粒とうもろこし、飼料用麦のSBSの利用、有効活用をPR</p> <p>配合飼料価格安定制度について、年度途中での基金の加入・変更等、生産者にとって利用しやすい制度運用を検討</p>	<p>生産者を含む関係者から緩和措置に対する意見等を集約</p> <p>実態把握の結果や規制緩和の状況等を踏まえ、関係者へ必要な情報の提供</p> <p>7月～ 17年度下期のとうもろこしの関税割当、次年度SBSの運用の検討、設定</p> <p>7月～ 生産者側の配合飼料の受入体制の検討を要請</p> <p>関係者による検討結果を踏まえた集案の作成</p>	<p>18年度以降も適宜内容を更新・改善、配布・周知。</p> <p>関係者からの意見に基づき、更なる規制緩和につき検討、普及推進</p>
流通・加工・販売コストの低減・合理化	<p>【食鳥処理場、GPセンター等の合理化等】</p> <p>食鳥処理場、GPセンターの統合、合理化、機能の高度化、稼働率の向上等を推進</p>		

注：計画欄の は、国、県等の活動、 は、団体の活動を示す

項目	4月～6月	7月～3月	備考
<p>消費者ニーズに対応した生産・供給</p>	<p>【地鶏肉等の生産の推進】</p> <p>在来鶏等特長ある鶏の改良と、これらを活用した地鶏肉等の生産の取組を推進</p> <p>【鶏卵、鶏肉の低需要部位の消費促進】</p> <p>鶏卵について、消費者等への多様な情報の発信・提供により、消費の安定・拡大を推進 実需者ニーズにきめ細かく対応した鶏肉の部分肉加工等を行うための食鳥処理場の整備</p> <p>5月 鶏卵・鶏肉の食べ物としての良さを評価するセミナー</p> <p>6月 鶏卵コレステロールフォーラム開催</p>	<p>地鶏肉の評価方法の調査・検討</p> <p>鶏卵とコレステロールの正しい理解増進 むね肉の需要動向調査</p>	
<p>養鶏経営における担い手の育成等</p>	<p>認定農業者に関する実態調査</p> <p>認定農業者の掘り起こしによる認定率向上</p> <p>【担い手の育成・確保】</p>	<p>持続可能な地域畜産生産構造の確立を明記した地域のアクションプランを策定</p>	<p>18年度は、アクションプランに基づき、持続可能な地域畜産生産構造の実現を目指し、同生産構造の構成員たる経営体に対する重点的な経営支援活動を推進</p>

注：計画欄の は、国、県等の活動、 は、団体の活動を示す

項目	4月～6月	7月～3月	備考
<p>養鶏経営における担い手の育成等</p>	<p>【対象者や地域を重点化した経営支援指導による経営体質強化】</p> <p>専門家支援チームによる支援・指導、研修・セミナーの実施等</p> <p>青色申告の推進、適正な資金計画や経営改善計画の策定、これらに基づく法人化や多角化の推進等による経営体質強化を通じた先進的経営の育成・確保</p>		
<p>3.安全・信頼の確保</p> <p>トレーサビリティと表示の適正化</p>	<p>【トレーサビリティの取組】</p> <p>消費者の求める生産・供給体制情報を伝達できるシステム構築と普及・定着 鶏卵トレーサビリティ導入ガイドラインを基本とした取組</p> <p>【表示適正化の取組】</p> <p>科学的根拠に基づく賞味期限等消費者に信頼される表示の検討</p> <p>流通事業者等における法令遵守の徹底</p> <p>鶏卵公正取引協議会（仮称）の設立に向けた取組</p>	<p>研修会の開催</p> <p>流通業界団体がコンプライアンス関係の講習会等を開催</p>	
<p>消費者の視点に立った的確な情報提供、食育の推進</p>	<p>【消費者への情報提供】</p> <p>平常時からのリスクコミュニケーションや生産現場での体験等を通じて、生産者と消費者の相互理解を深める取組を推進</p>	<p>消費拡大の取組の一環として、鶏卵・鶏肉それぞれについて安全・安心を確保するための情報提供を行う取組</p>	

注：計画欄の は、国、県等の活動、 は、団体の活動を示す

項目	4月～6月	7月～3月	備考
<p>消費者の視点に立った的確な情報提供、食育の推進</p>	<p>【ふれあい体験交流を通じた食育の推進】</p> <p>6/28、7/12 : 全国説明会の開催</p> <p>5/28 : LIN推進協議会開催</p> <p>6/23 : LIN団体連絡会・推進委員会の開催</p>	<p>12月 : 委員会の開催</p> <p>7月下旬 : 委員会の開催</p> <p>11月 : アンケート調査の実施</p> <p>12月 : LIN推進委員会開催</p> <p>動画情報の提供、消費者モニターの確保、情報交流用等を通じて生産者と消費者双方向のパートナーシップの向上を推進</p>	<p>地域交流牧場協議会の設置</p>
<p>4. 高病原性鳥インフルエンザ発生の経験を生かして</p> <p>消費者、生産者等関係者間の顔の見える関係づくり</p>	<p>【顔の見える関係づくり会合の開催】</p> <p>消費者、生産者等関係者間で情報を共有し、信頼関係を構築するため、顔の見える関係づくり会合を開催</p> <p>7/11 高病原性鳥インフルエンザに関する説明会の開催</p>	<p>鶏卵・鶏肉それぞれについて、中央・支部レベルで、顔の見える関係づくり会合を開催</p>	

注：計画欄の は、国、県等の活動、 は、団体の活動を示す

項目	4月～6月	7月～3月	備考
発生の予防及びまん延防止の取組と発生農場の経営再建支援	<div data-bbox="577 268 1977 464" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・高病原性鳥インフルエンザの防疫指針等に基づく発生予防及びまん延防止対策等の徹底 ・高病原性鳥インフルエンザに関する正確な情報の提供 ・外国における鳥インフルエンザの発生情報を入手次第、速やかに発生国からの家きん、その他の鳥類等の輸入停止 ・高病原性鳥インフルエンザが万一発生した場合の家畜防疫互助基金による適切な補てん </div> <div data-bbox="1133 491 1420 587" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 感染経路究明チーム 編成 </div> <div data-bbox="1133 644 1391 751" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 全国一斉サーベイ ランスの実施 → </div> <div data-bbox="936 871 1632 1043" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 高病原性鳥インフルエンザ対策の周知徹底 家畜防疫互助基金への加入促進 採卵鶏経営における鳥インフルエンザ経営再開費用保険 (民間団体保険)への加入促進 </div>		
<div data-bbox="114 1150 512 1225" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 5. 疾病の発生予防と衛生管理 水準の向上 </div>	<div data-bbox="591 1145 1059 1238" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> ・飼養衛生管理基準の遵守の徹底 ・HACCP手法の普及・定着等 </div> <div data-bbox="1178 1145 1574 1225" style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> サルモネラ対策等の周知徹底 → </div>		

注: 計画欄の は、国、県等の活動、 は、団体の活動を示す

項目	4月～6月	7月～3月	備考
<p>6. 自然循環機能の維持増進</p> <p>排せつ物の適正な管理と利用の促進</p>	<p>【家畜排せつ物の管理の適正化】</p> <p>4月～：家畜排せつ物処理施設(共同及び個人)の計画的な整備を実施</p> <p>【家畜排せつ物の利用の促進等】</p> <p>6月～：家畜排せつ物利活用計画に係る調査検討を実施</p> <p>～8月：作物生産農家の使いやすいたい肥の生産マニュアル(仮称)の作成</p> <p>【耕畜連携によるたい肥利用の推進】</p> <p>4月～：都道府県等地域の主導による創意工夫をこらしたたい肥利活用の取組を支援</p> <p>4月～：JA等団体の主導によるたい肥利活用のモデル事業を支援し、その確立・普及を推進</p> <p>【環境規範の導入】</p> <p>3月31日：環境規範を策定</p> <p>〃：点検活動の手引きを作成・配布</p> <p>各種支援策への要件化(クロス・コンプライアンス)(バイオマスの環づくり交付金等の要領等において要件化)</p>		<p>経営規模や地域の実情に応じ、簡易対応から施設整備への移行を推進</p> <p>利活用の取組の推進や技術開発・実証普及の取組を推進</p> <p>作物生産農家のニーズに合ったたい肥を供給するための取組等の実施を通じ、耕畜連携の強化を図り、水田等へのたい肥利用を推進</p> <p>順次、各種支援策への要件化を検討</p>
<p>未利用資源の飼料としての活用促進</p>	<p>5月12日：飼料自給率向上戦略会議の開催(平成17年度行動計画の決定等)</p> <p>6月16日：全国食品残さ飼料化行動会議の開催(平成17年度行動計画の決定等)</p>	<p>・食品残さの飼料化リーフレットによるPR</p> <p>・食品残さ飼料化の取組の優良事例の収集、提供</p> <p>・食品産業、畜産農家、関係団体等のネットワークづくり</p> <p>・シンポジウムの開催</p>	

注：計画欄の は、国、県等の活動、 は、団体の活動を示す